

# 令和4年度 板橋区立小中学校 ICT機器活用アンケート調査 結果報告（概要版）

【調査期間】 令和4年11月1日（火）から令和4年11月25日（金）まで

## 【調査対象】

- ① 管理職 区立小中学校に勤務する校長・副校長（148名）
- ② 教員 区立小中学校に勤務する教育職員（1,771名）
- ③ 児童生徒 区立小学校に在籍する5年生及び6年生児童（7,619名）  
区立中学校に在籍する7年生及び8年生生徒（6,140名）

※調査対象には、休職中や長期欠席中の者も含まれる。

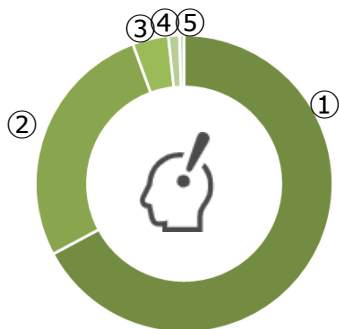
## 【有効回答者数（率）】

学校	小学校			中学校		
	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
校長・副校長	<b>83名</b> (80%)	101名 (97%)	98名 (94%)	<b>34名</b> (77%)	37名 (84%)	41名 (93%)
教育職員	<b>805名</b> (67%)	808名 (63%)	657名 (55%)	<b>314名</b> (56%)	319名 (53%)	315名 (56%)
児童生徒	<b>5,601名</b> (74%)	5,912名 (79%)	747名 ※抽出校のみ	<b>4,502名</b> (73%)	4,633名 (75%)	1,375名 ※抽出校のみ

# 電子黒板の活用効果

9割以上の児童生徒が「電子黒板を使った授業はわかりやすい」と感じている。また、約9割の教員が「電子黒板や実物投影機の活用が、授業内容に対する児童生徒の理解を深めている」と感じている。

- 電子黒板を使った授業は、電子黒板を使わない授業よりもわかりやすいですか。（調査項目：児童No1、生徒No1）

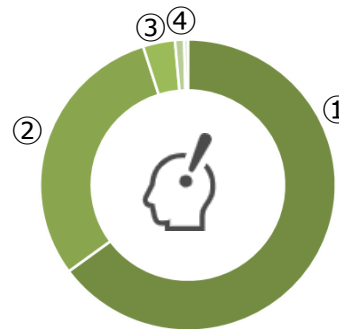


児童

**94%**

わかりやすさ  
を実感

①わかりやすい	67%	②少しわかりやすい	27%
③少しわかりにくい	4%	④わかりにくい	1%
⑤授業を受けたことがないからわからない	1%		



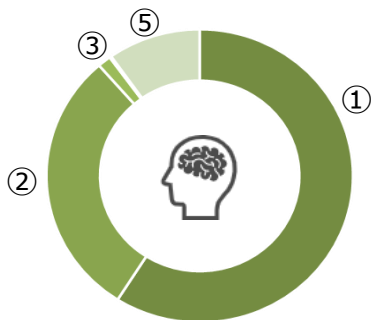
生徒

**95%**

わかりやすさ  
を実感

①わかりやすい	65%	②少しわかりやすい	30%
③少しわかりにくい	4%	④わかりにくい	1%
⑤授業を受けたことがないからわからない	0%		

- 電子黒板や実物投影機を活用してから、授業内容に対する児童生徒の理解が深められたと思いますか。（調査項目：小学校教員No2、中学校教員No2）

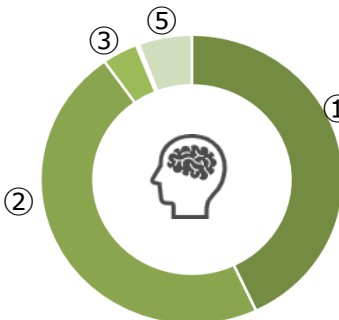


小学校教員

**89%**

理解の深まり  
を実感

①そう思う	59%	②ややそう思う	30%
③あまりそう思わない	1%	④そう思わない	0%
⑤電子黒板や実物投影機を活用していない	10%		



中学校教員

**90%**

理解の深まり  
を実感

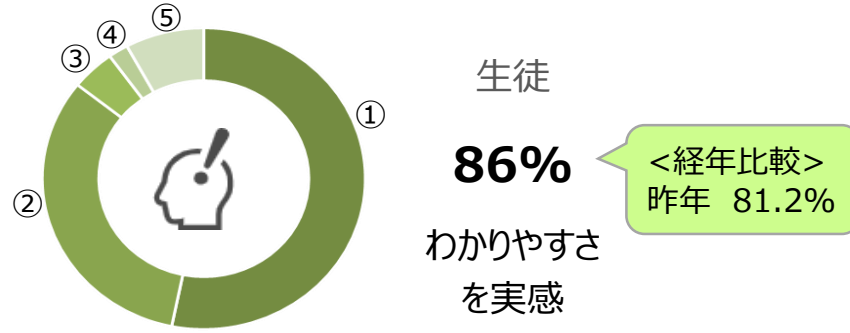
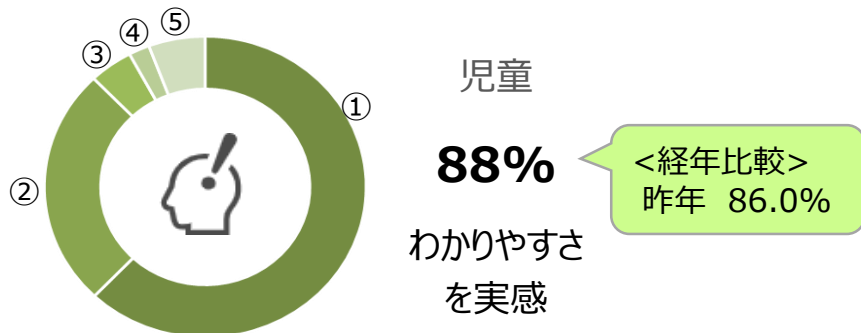
①そう思う	43%	②ややそう思う	47%
③あまりそう思わない	4%	④そう思わない	0%
⑤電子黒板や実物投影機を活用していない	6%		

# Chromebookの活用効果

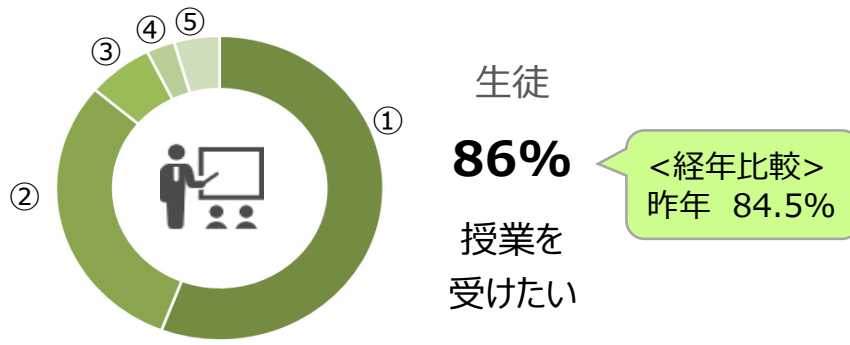
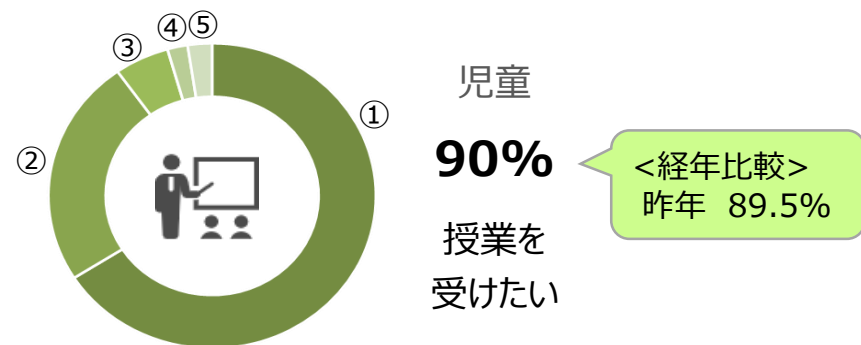
8割以上の児童生徒が「Chromebookを使った授業はわかりやすい」と感じている。

「今後もChromebookを利用した授業を受けたい」と回答した児童生徒は約9割にのぼる。

- Chromebookを使った授業は、Chromebookを使わない授業よりもわかりやすいですか。（調査項目：児童No4、生徒No5）



- あなたは今後もChromebookを利用した授業を受けたいですか。（調査項目：児童No5、生徒No6）



# Chromebookの活用効果（児童生徒の自由意見）

- Chromebookを使って良かったことや困ったことなどがあれば、自由にお書きください。  
（調査項目：児童No15、生徒No18）※自由意見（同内容の意見が複数寄せられたものを抜粋して掲載）

## 小学校児童

- 知りたいことをすぐに調べられる。
- 連絡帳に書かなくても、Chromebookの「Classroom」で確認できるようになった。
- タイピングが以前より速くなった。
- スライド発表をする機会が多くなり、キャッチコピーやわかりやすいアニメーションなどで工夫して発表できるようになった。
- 英語の授業で正しい英語の音声が入る。体育の授業で自分の技の様子がわかる。
- 「オクリンク」などで、自分の意見を深めたり、他の人の意見を参考にできたりするのでとても分かりやすい。
- オンラインで授業ができて、休んだ分の授業に遅れずに済んだ。
- 調べ学習の際にサイトがブロックされてしまい、情報集めに時間がかかることがある。

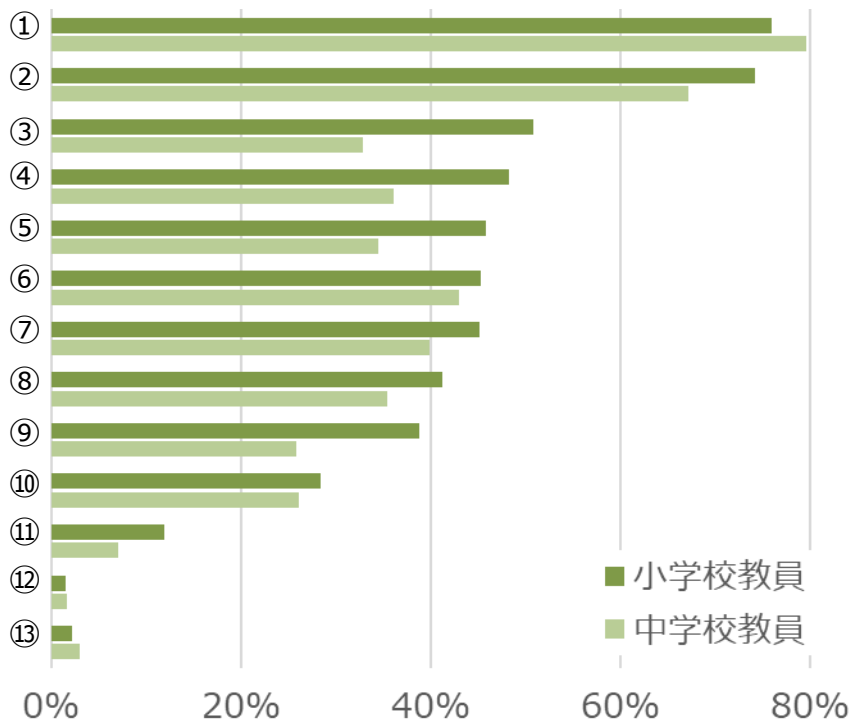
## 中学校生徒

- 調べたいものをより早く調べることができるようになった。
- 授業内容が分かりやすくなったし、Chromebookを使うことで内容が頭に入りやすくなった。
- 文章などを打つとき途中で間違えても全て消さなくてすみ、わからない漢字があっても変換で学ぶことができる
- 自分の考えをまとめやすくなり、友達の意見や自分の意見を伝えやすくなった。
- 先生からの連絡がすぐに把握でき、課題や調べ物もスムーズにできるようになった。
- 部活の「Classroom」で日程を確認できる。
- 学校を休んだ時にオンライン授業ができたり、課題がオンラインで配布されるのが便利だと感じた。
- 参考にしたいサイトがブロックされていることがある。

# Chromebookの活用効果

Chromebook整備により得られた効果として、教員からは「調べ学習がしやすくなる」「ICTを活用した授業が実施しやすくなる」ことが多く挙げられた。

- Chromebookが児童生徒に1人1台整備されたことにより、どのような効果が得られたと思いますか。あてはまるものを全てお選びください。（調査項目：小学校教員No4、中学校教員No4）



Chromebook1人1台整備による効果 ※内訳については複数回答	小学校 教員	中学校 教員
① 調べ学習がしやすくなる	<b>1位</b> (76%)	<b>1位</b> (80%)
② ICTを活用した授業が実施しやすくなる	<b>2位</b> (74%)	<b>2位</b> (67%)
③ 児童生徒1人1人の反応を把握できる	<b>3位</b> (51%)	33%
④ 児童生徒が主体的に学習に取り組むようになる	48%	36%
⑤ 児童生徒が同時に別々の内容を学習できる	46%	34%
⑥ 表現・制作活動がしやすくなる	45%	<b>3位</b> (43%)
⑦ 児童生徒1人1人の考えを即時に共有し、共同編集ができる	45%	40%
⑧ 児童生徒1人1人が記事や動画等を集め、独自の視点で情報を編集できる	41%	35%
⑨ 児童生徒の学習履歴が自動的に記録される	39%	26%
⑩ 遠隔教育がしやすくなる	28%	26%
⑪ 情報モラル教育がしやすくなる	12%	7%
⑫ 特になし	2%	2%
⑬ その他	2%	3%

# 電子黒板およびChromebookの活用効果

電子黒板やChromebookの活用により、小・中学校ともに**9割以上**の管理職が教員の授業改善に向けた意欲の向上に役立つと考えている。さらに、**小学校で約9割、中学校で約8割**の管理職が授業中の児童生徒の集中力の向上を感じている。

- 電子黒板やChromebookの活用は、教員の授業改善に向けた意欲の向上に役立つと思いますか。  
(調査項目：小学校管理職No1、中学校管理職No1)

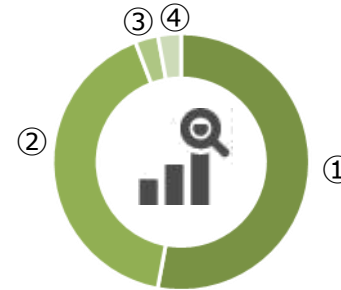


小学校管理職

**99%**

意欲向上に役立つと感じている

① そう思う	86%	② ややそう思う	13%
③ あまりそう思わない	1%	④ そう思わない	0%



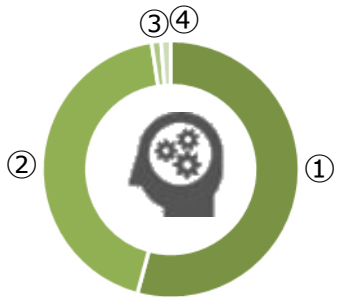
中学校管理職

**94%**

意欲向上に役立つと感じている

① そう思う	53%	② ややそう思う	41%
③ あまりそう思わない	3%	④ そう思わない	3%

- 電子黒板やChromebookの活用により、授業中の児童生徒の集中力が向上したと思いますか。  
(調査項目：小学校管理職No2、中学校管理職No2)

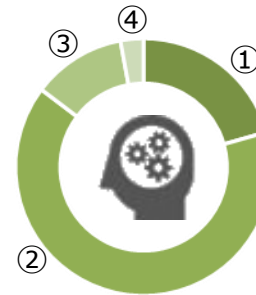


小学校管理職

**98%**

集中力の向上を実感している

① そう思う	54%	② ややそう思う	44%
③ あまりそう思わない	1%	④ そう思わない	1%



中学校管理職

**85%**

集中力の向上を実感している

① そう思う	20%	② ややそう思う	65%
③ あまりそう思わない	12%	④ そう思わない	3%



# 特別な支援が必要な児童生徒へのChromebook活用

- 特別な支援が必要な児童への指導におけるChromebookの活用について、有効な事例や今後必要な機能・ツール等があれば、自由にお書きください。

(調査項目：小学校教員No5、中学校教員No5) ※自由意見（抜粋して掲載）

## 小学校

- 文字を視覚的に認識しにくかったり、書けなかったりする児童には写真を撮って記録する等の手段が使える。
- 書字が苦手な児童にとって有効。ノートには書けないが、ムーブノートで表現したり、オクリンクでカードを作ったりできる。
- 書くことを苦手とする児童が、生き生きと学習に取り組む姿が見られた。
- jamboardは、使いたい言葉（付箋）や画像を動かしながら使えて、視覚化しやすい。
- 体育、特に器械運動で有効である。
- ことばの教室の通級児の中には、デイジー教科書などの音声読み上げ機能のついたものや、音声入力(書くことに苦手さがある子向け)アプリなどを活用することで、困り感が軽減している子がたくさんいます。
- 字の読み書きが難しい子が、音声入力して手軽にプリントアウトできるようになると、主体的な学びが進むと思う。

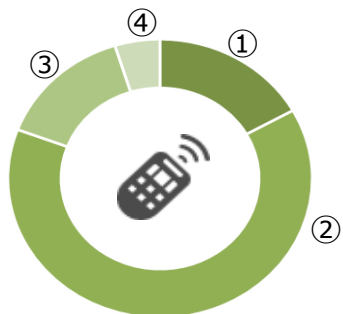
## 中学校

- 書字に困難のある生徒が自分の考えをまとめるのに活用できる。
- 作文の下書きをGoogleドキュメントで行うことで、書字を苦手とする生徒も1000字程度書くことができた。
- 文字を書くことに抵抗のある生徒が、パソコンでなら積極的に授業に参加することができます。
- 自然とローマ字入力を覚える。板書を書き写すのが遅い生徒でも板書を写真に撮ることで、時短となると思われる。
- 説明を行う際、文字を読み取るのが苦手な生徒に、動画を活用して説明ができる。
- 不登校傾向の生徒との連絡にMeetを活用。
- 課題をストリームに上げることにより繰り返し取り組める。
- 外国から来た転入生は漢字が読めない生徒だったが、デジタル教科書のルビふり機能や音声朗読機能、実験動画を使うことで理解しやすくなり、役に立った。
- 音声入力が教室内（複数生徒が話をしている状況）でもできるようなツールがあると良い。

# モバイルルータの活用

小・中学校の約8割が、日ごろからモバイルルータを活用している。活用場面としては、**体育や行事等の屋外活動、特別教室での活用、校外活動における活用**が多い。

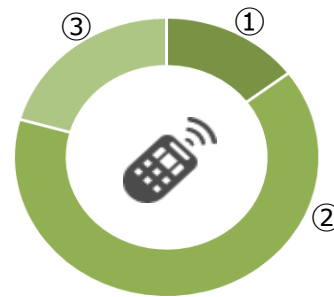
- 貴校では、モバイルルータは活用していますか。（調査項目：小学校管理職No11、中学校管理職No11）



小学校管理職

**81%**

活用している



中学校管理職

**80%**

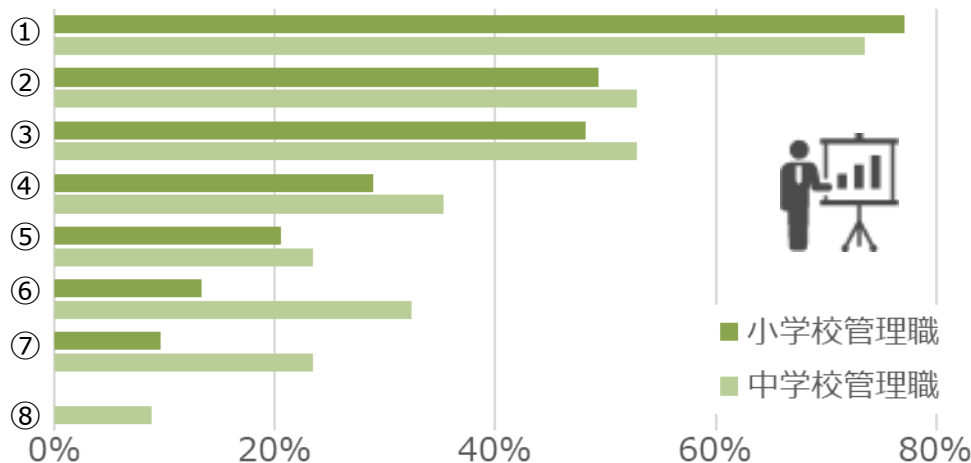
活用している

①よく活用している (日常的に実施)	17%	②ときどき活用している	64%
③あまり活用していない	14%	④活用していない	5%

①よく活用している (日常的に実施)	15%	②ときどき活用している	65%
③あまり活用していない	20%	④活用していない	0%

- 貴校におけるモバイルルータの活用場面にあてはまるものを全てお選びください。

（調査項目：小学校管理職No12、中学校管理職No12）



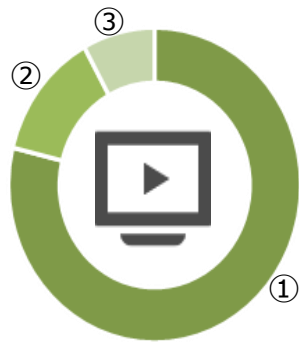
モバイルルータの活用場面 ※内訳については複数回答	小学校管理職	中学校管理職
① 校庭等屋外における体育や行事等での活用	77%	74%
② 特別教室での活用	49%	53%
③ 校外活動における活用	48%	53%
④ 集会・会議のオンライン実施における活用	29%	35%
⑤ 少人数指導における活用	21%	24%
⑥ 別室登校時における活用	13%	32%
⑦ STEP UP教室での活用	10%	24%
⑧ オンライン相談における活用	0%	9%



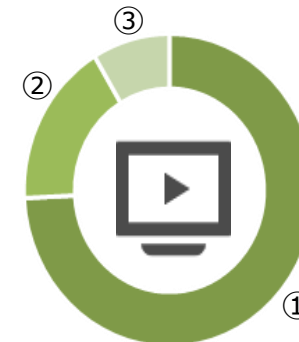
# オンライン授業等の実施

オンライン授業、授業配信、オンデマンド授業等配信を実施したことがある教員は、小・中学校ともに約7割以上にのぼる。課題としては、配信専用の端末が必要であることなどが挙げられた。

- オンライン授業（双方向で「教員と児童生徒」「児童生徒同士」でやりとりする授業）や、授業配信（双方向でのやりとりは行わず、授業の様子のみ配信）、オンデマンド授業等配信（事前に録画した授業動画等の配信）を実施したことがありますか。（調査項目：小学校教員No22、中学校教員No22）



小学校教員  
**79%**  
実施経験あり



中学校教員  
**74%**  
実施経験あり

①実施したことがある	79%
②実施したことがない	13%
③実施できない（授業未担当）	8%

①実施したことがある	74%
②実施したことがない	17%
③実施できない（授業未担当）	9%

- オンライン授業やオンデマンド授業の実施について、課題があれば自由にお書きください。  
（調査項目：小学校教員No23、中学校教員No23）※同内容の意見が複数寄せられたものを抜粋して掲載

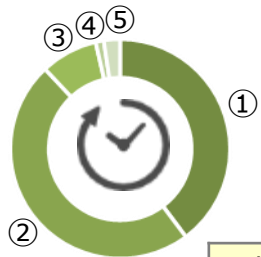
## オンライン授業・オンデマンド授業実施に関する課題

- 端末が1台だと、授業用と配信用が兼用になって使いにくい。配信専用の端末が必要。
- 準備に時間がかかる。担任だけだといろいろな場面で負担が多い。
- 教室とオンライン学習との並行授業が難しい。

# 校務支援システムの活用による事務的な作業時間の削減

校務支援システムの活用により、事務的な作業時間が削減されたと感じている管理職は、**小学校で約9割、中学校で約8割**となっており、特に中学校でその割合は経年増加している。事務作業の平均削減時間は、「30分未満」「30分以上～45分未満」が多い。

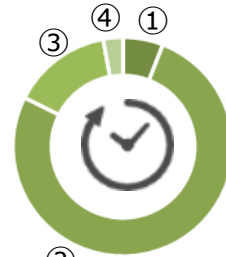
- 校務支援システム（C4thなど）の活用により、事務的な作業を行う時間は削減されたと思いますか。システムが無い場合を想定してお答えください。（調査項目：小学校管理職No19、中学校管理職No19）



小学校管理職  
**88%**  
削減効果を実感

<経年比較>※  
昨年 89%  
一昨年 77%  
※一昨年までは、選択肢が「削減された」「変わらない」「増加した」の3択

①削減された	40%	②やや削減された	48%
③変わらない	9%	④やや増加した	1%
⑤増加した	2%		

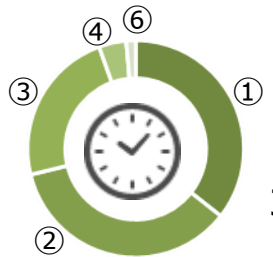


中学校管理職  
**82%**  
削減効果を実感

<経年比較>※  
昨年 68%  
一昨年 62%  
※一昨年までは、選択肢が「削減された」「変わらない」「増加した」の3択

①削減された	6%	②やや削減された	76%
③変わらない	15%	④やや増加した	3%
⑤増加した	0%		

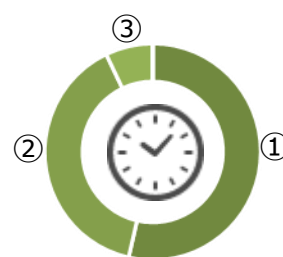
- 「削減された」「やや削減された」と答えた方にお聞きします。事務的な作業を行う時間（日にち・場所は問わない）は、平均すると1日に何分削減されましたか。（調査項目：小学校管理職No19-A、中学校管理職No19-A）



小学校管理職  
**72%**  
30分未満、30分以上～45分未満削減された

<経年比較>  
昨年 66%  
一昨年 57%

①30分未満	36%	②30分以上～45分未満	36%
③45分以上～60分未満	23%	④60分以上～75分未満	4%
⑤75分以上～90分未満	0%	⑥90分以上	1%



中学校管理職  
**93%**  
30分未満、30分以上～45分未満削減された

<経年比較>  
昨年 80%  
一昨年 62%

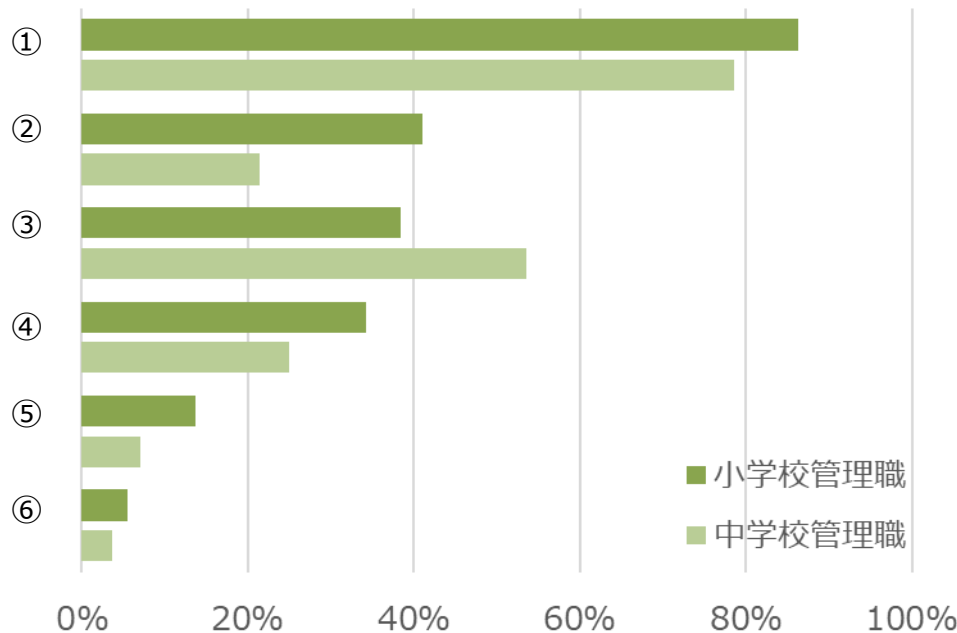
①30分未満	54%	②30分以上～45分未満	39%
③45分以上～60分未満	7%	④60分以上～75分未満	0%
⑤75分以上～90分未満	0%	⑥90分以上	0%

# 校務支援システムにより削減された時間の活用

小・中学校ともに約8割の管理職が、校務支援システムにより削減された時間を**時間外勤務の削減**に充てた。また、小学校管理職では**保護者・地域への子どもに関する情報発信や、教員の指導**、中学校管理職では**教員の指導、保護者・地域への教育活動に関する情報発信**に充てている割合が高い。

- 「削減された」「やや削減された」と答えた方にお聞きします。削減された時間を、何に充てましたか。

(調査項目：小学校管理職No19-B、中学校管理職No19-B)



削減された時間を、何に充てましたか。 ※内訳については複数回答	小学校管理職	中学校管理職
① 時間外勤務を減らすこと	1位 (86%)	1位 (79%)
② 保護者（地域）への子どもについての情報発信を充実させること	2位 (41%)	21%
③ 教職員の指導	3位 (38%)	2位 (54%)
④ 保護者（地域）への学校や教育活動についての情報発信を充実させること	34%	3位 (25%)
⑤ 他校の研究発表授業などを自由に見に行く時間を確保すること	14%	7%
⑥ その他	6%	4%